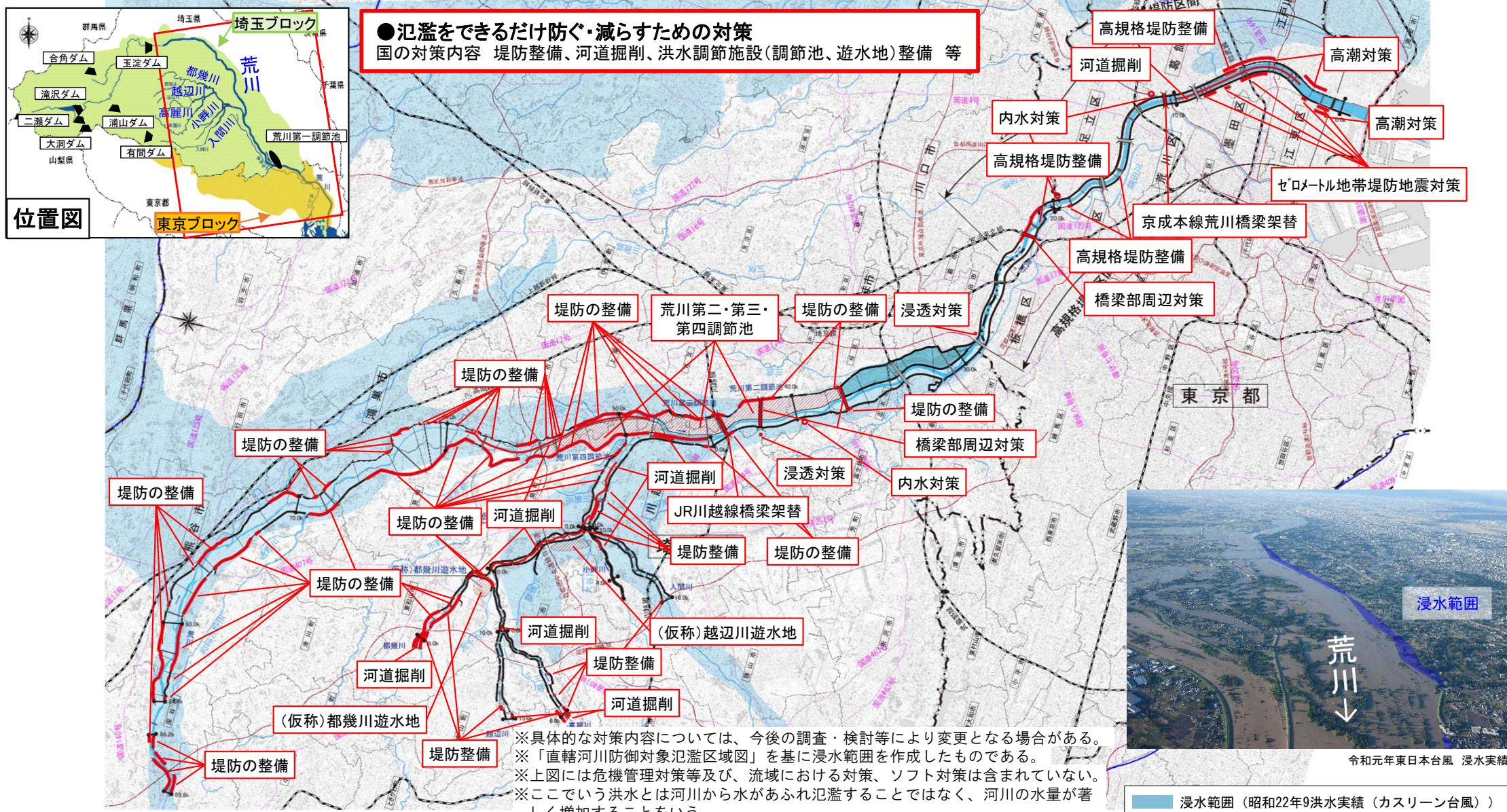


荒川水系（東京ブロック）流域治水プロジェクト 国管理区間【位置図（詳細版）】1／2

～我が国の社会経済活動の中核を担う東京都及び埼玉県を守る抜本的な治水対策の推進～

R 3.3 策定

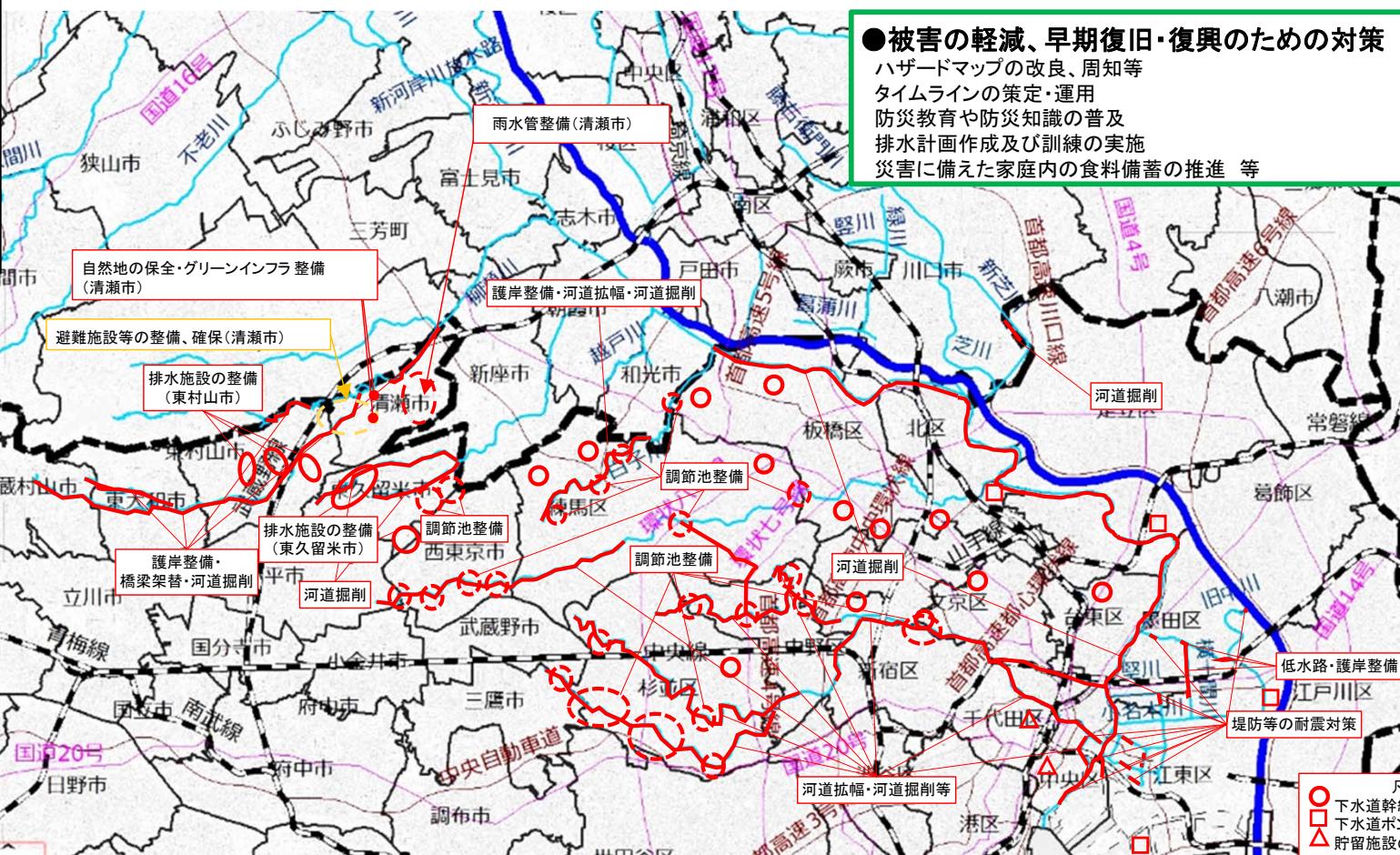
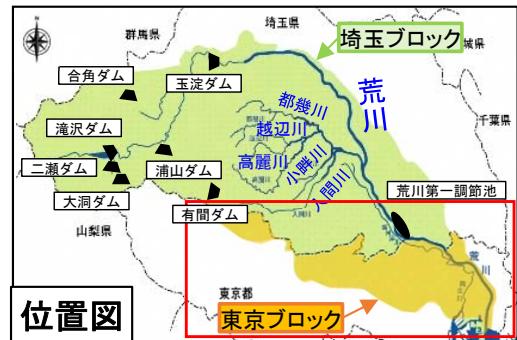
○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、荒川においても、事前防災対策を進め
る必要がある。荒川は、高密度に発展した首都圏を氾濫区域とし、下流部は、広大なゼロメートル地帯が広がっており、氾濫した場合の被
害は甚大となることを踏まえ、以下の取り組みを実施することで、国管理区間においては、戦後最大の昭和22年9月のカスリーン台風と同
規模の洪水を資産の集中する首都圏中枢部において安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



荒川水系（東京ブロック）流域治水プロジェクト 東京都管理区間【位置図（詳細版）】 2／2

～我が国の社会経済活動の中核を担う東京都及び埼玉県を守る抜本的な治水対策の推進～

R 3.3 策定



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。※上図の対策は、代表事例を記載。